

健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

骨粗鬆症予防(ロコモティブシンドローム対策)事業

事業概要

骨粗鬆症予防(ロコモティブシンドローム対策)として、40歳以上の町民を対象とし、骨密度測定を行う。

測定結果で、指導が必要な方には、8月から「骨コツ教室」を月1回実施し、町民の健康増進に努める。

事業内容(参加者数・予算等)

● 参加者数・予算

26人(受診者826人中26人を対象)、336千円

● 骨密度測定(7月)

集団健診(特定健診及び各種がん検診)と併せて実施

● 教室

測定後に、指導が必要な196人を対象に案内を送付し申し込みのあった先着順に26名を対象に教室を実施

町内にある武蔵丘短期大学に検査及び集計を依頼し、毎月1回の教室を開催

事業効果

- H25年度から、健康増進法に基づく対象者(40歳から70歳までの5歳刻みの女性)から対象者を拡大した
- 要指導対象者へ早期指導・助言を行えたことにより、今後の骨粗鬆症予防(ロコモティブシンドローム対策)に役立てることが出来た

その他

- 骨密度測定の受診者を増やすことや若い世代(40代)の受診者を増やせるような取り組みが必要